

総合計画審議会委員の意見反映状況

各委員からのご意見のうち、前期基本計画案に反映したご意見については、以下のとおりです。

●第2回審議会における意見と前期基本計画案への反映

高橋(和)委員	<p>○基本計画の中では子どもへの対応、高齢者への対応ということでしっかりと書いているが、障がい児という言葉がないところが気になった。障がい児、障がいのある子どもへの対応というものを基本計画の中で見えるようにしていくというところをご検討いただきたい。</p> <p>⇒P40 基本目標4(4)障がい者支援 今後の取組に記載</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p>2 ニーズに応じた障がい者福祉の充実</p> <p>●「障がい児福祉計画」に基づき、早期療育や相談支援体制の充実等、障がい児の健やかな育成のための発達支援をサポートします。</p> </div>
成澤委員	<p>○富谷市の素晴らしいところは、市民と協働で作り上げることや、市民が主体的に、かつ意欲的に色々な政策に参加するという土俵ができていて、その機運が醸成されているところにあると思う。この「みんなで取り組みたいこと」という部分が盛り込まれてきた意味というのは、非常に大きくて素晴らしいことだと感じた。「みんなで取り組みたいこと」の内容をもう少し膨らませていただけることを期待している。</p> <p>⇒施策毎に「私たちができること・みんなで取り組みたいこと」を記載 ※タウンミーティングや市民ワークショップ等での意見を反映</p> <p>○すごくボリュームのある部分とコンパクトにまとまっている部分があって、実際に見る人は個人が興味関心のある部分しか見ないこともあり得ると思うので、文章量のバランスも意識して作っていただきたい。</p> <p>⇒見る人に分かりやすく伝わりやすいよう、全体的に文章量を調整</p>
高橋(知)委員	<p>○最近感じているのは、町内会や子ども会の役割で、コロナを経て少しずつ縮小化し、形が変わってしまったのではないかと感じている。高齢者もどんどん増えてきて、町内会だけではないところのつながりであったり、町内会の活性化も必要かもしれない。</p> <p>⇒P68 基本目標 7(1)地域活動・市民活動 今後の取組に記載</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p>2 地域コミュニティ活動の活性化への支援</p> <p>●町内会の活動支援や担い手の育成など、町内会を核とした地域コミュニティ活動の活性化を支援します。</p> </div>
菅原委員	<p>○気になった点として、基本理念に「市民のために、市民と共に、市民が主役のまちづくり」が重要だとしっかりと書かれている中で、「市民に期待すること」という言い回しを、市民の皆さんに誤解を招かないような文言に整理する必要がある。</p> <p>⇒「市民に期待すること」の項目は削除し、施策毎に「私たちができること・みんなで取り組みたいこと」を記載</p>

宮崎委員	<p>○学校支援ボランティアの説明の中で高齢化という話があったが、一定数、子育ての合間でちょっとした時間が空いている保護者の方も結構いらっしゃるという印象を受けています。保護者と学校の関係性も良くなるきっかけになるのではないかと思うので、学校支援ボランティアについてもっと発信していくと良い。</p> <p>⇒P32 基本目標3(5)青少年健全育成 今後の取組の中に包含</p> <p>3 地域ぐるみで子どもを守り育てる環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●青少年の非行防止や非行の温床となる環境に地域ぐるみで目を配り、関係機関や関係団体の協力を得ながら、巡回パトロール活動を実施します。 ●コミュニティ・スクールの導入に向けた調査、研究を進めながら、地域と学校をつなぐ取組など、子どもたちを地域ぐるみで守り育てる環境づくりを推進します。
------	---

●前期基本計画案の確認時(10/23 付け依頼)における意見と計画案への反映

新藤委員	<p>○34 ページの「私たちができること・みんなで取り組みたいこと」の項目に、街角カフェやゆとりすとクラブ以外の新たな交流の場を町内会として考えてみることを記載してはどうか。</p> <p>⇒P34 基本目標4(1)地域共生 「私たちができること・みんなで取り組みたいこと」に交流機会の創出について記載</p> <p>▶高齢者世代と若い世代の世代間交流など、多世代・多様な交流機会を増やす</p>
高橋(和)委員	<p>○18 ページの「私たちができること・みんなで取り組みたいこと」が、「子どもたちのために、通学路となっている道の清掃や除草をする」と記載されているが、通学路は、子どもたちも地域の方々もよく通る道ではないかと思う。今後の取組の記載内容も、子どもに限定せず、環境への配慮や維持管理のことが書かれているので、「通学路や生活道路になっている道の清掃や除草をする」など、子どもも含めて市民の安全や、環境維持・整備・美化に取り組む市であることが表現されていても良いのではないか。</p> <p>⇒P18 基本目標 2(3)道路 「私たちができること・みんなで取り組みたいこと」を修正</p> <p>▶通学路や生活道路となっている道の清掃や除草をする</p>
菅原委員	<p>○基本目標 3(2)子育て環境、(3)子育て支援の今後の取組において、両方に「保育サービスの充実」が記載されているが、2か所に分けずに1か所にまとめて施設の充実さがよりわかりやすくなるのではないか。</p> <p>⇒P26~基本目標 3(2)子育て環境では、地域も含めた環境づくりについてを、(3)子育て支援では、支援サービスについてを記載することとして分類しているため、原案のままとしたい</p> <p>○基本目標 3(3)子育て支援の今後の取組「子育て支援サービスの充実」で「一体的な支援を行う「こども家庭センター」を設置し」という記載があるが、何が一体的なのか丁寧に記載したほうがわかりやすい。</p> <p>⇒P27 基本目標 3(3)子育て支援の現状に「こども家庭センター」の説明を追記</p> <p>●令和7年4月より「富谷市こども家庭センター」を設置し、妊産婦や子育て世帯、子ども自身に寄り添い、母子保健機能と児童福祉機能の一体的な支援を行っていきます。</p>

菅原委員	<p>○基本目標 4(3)高齢者支援の施策の方針について 「幸齢者(こうれいしゃ)」という表記があるが、この表記は富谷市が使用しても問題ないか。 ⇒P37 基本目標 4(3)高齢者支援 施策の方針の文言「幸齢者」を国に倣つて「幸齢社会」に修正</p>
------	---